

一人一人の個性を輝かせ、主体的に学ぶ子供の育成 ～つながる 挑む 考動する～



# 河内小だより

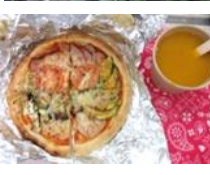
三次市立河内小学校 令和7年12月号

## 「しあわせこうち食堂」で世代をこえてつながろう！

～楽しく交流！みんな笑顔で心も元気！～

昨年度からスタートした5、6年生の「ふるさと河内きらっ☆プロジェクト」。  
2ヶ月に一回、河内コミュニティーセンターで開催されている「しあわせこうち食堂」の企画・運営に携わらせていただいています。この学習は、河内地域が抱えている課題や「どんなまちづくりをしていきたいか」という地域の方々の願いについて調べ、その課題を解決していくために自分たちにできることを考え、テーマを決めて取り組む学習です。

これまで地域の方々に支えられて育ってきた自分たちが、地域のために貢献できることにワクワク感をいだきながら学習を進めています。



河内地区まちづくり連合会の会長の堂前さんや「しあわせこうち食堂」を立ち上げた田上さんの話を聞き、「地域住民のつながりが薄れてきている。誰もが元気に触れ合える町をつくりたい。」という熱い思いを知りました。

食堂の運営資金も課題となっていると聞き、学校の農園で育てた平和菊や野菜を売って運営資金にすることに挑戦したり、育てた野菜を使って料理ができるよう提供したりしました。

10月のこうち食堂のメニューは、子ども達が育てたカボチャやなす、小松菜を使った「ピザ」「かぼちゃスープ」でした。

育てた菊や野菜の販売は河内コミュニティーセンターで行いました！初めての試みだったので、事務局の田中さんとも打ち合わせをしました。

こうち食堂に来てくださった人たちがつながる場となるように、10月はドングリや松ぼっくりなどの木の実を使ったリースづくり体験を企画しました。

リースづくりをしながら和やかに会話をしたり、教え合ったりしながら、人と人とのつながりができるようコーディネートしました。皆さん楽しそうに作っていただき大盛況でした！



## 防災教室がありました～自分の命は自分で守ろう～

11月26日(水)に防災士の戸田歳孝さんに来ていただき、「防災教室」を行いました。災害にはどんなものがあるのか、もし災害が起きたらどうしたらよいのか、そのために準備や備蓄しておくといものは何かなどについて教えていただいたり、一緒に考えたりしました。

お話の後は実際に役立つ「新聞紙スリッパ」や「段ボールベッド」「簡易トイレ」を作りました。昨年度は地域の方々と一緒に作ったのですが、今回は子ども達だけで挑戦!毎年組み立てているだけあって、手慣れた感じで組み立てることができました。

また12月3日(水)には、地震が起きたことを想定しての避難訓練をしました。いつもは授業中に実施して、担当の先生や放送での指示をよく聞いてから避難する形で訓練をしていますが、今回は掃除時間中に地震が起きたと想定し、全体での放送も各担当の先生からの指示もなしで、自分で考えて地震の揺れから身を守ったり、揺れがおさまった後の避難を行ったりしました。地震や火災は、いつ、どこで遭うか、誰も分かりません。いざ災害に遭ったとき、落ち着いて自分の命を守る行動ができるよう、これからも防災教室や避難訓練を続けていきたいと思っています。



## 民生委員・児童委員さんと花植えをしました! ～11月11日～

今年も民生委員・児童委員さんに来ていただき、2年生から4年生がビオラの花をプランターに植えました。毎年取り組んでいる花植え活動ですが、土づくりや上手な花の植え方を丁寧に教えてくださいました。民生委員・児童委員さんと一緒に植えた花は、毎年寒い冬を越し、4月の入学式頃まできれいに咲いてくれています。今年も心を込めて大切に育てていきます。



## おめでとうございます！

本年度もいろいろなコンクールに応募しました。みんな大健闘でした。

### 【中国新聞に掲載】

#### 【文化ひろば「こども俳句」みんなの広場】

- ・はぶ草茶 暑い時には 最高だ  
(4年 升森 健太) 9月4日版
- ・夏の夜 家族で花火 きれいだな  
(3年 藤越 紗月) 9月11日版
- ・おいしいな シャインマスカット つめたいな  
(3年 戸田 今日子) 9月25日版
- ・ジャガイモは お口ではじけ あっちっち  
(4年 木村 悠人) 10月2日版
- ・あまいぶどう 家族で食べた つめたいな  
(3年 藤越 紗月) 10月9日版

#### 【第21回三次市内児童・生徒写生大会】

- 佳作の部 3年 藤越 紗月  
入選の部 4年 木村 悠人 升森 健太

#### 【第22回みよし文化祭 俳句大会】

- 小学生中学年の部 特選 3年 戸田 今日子  
「まぶしいな 太陽みたいな クラゲ見た」

#### 【令和7年度小学生人権作品コンクール：人権書道】

- 優秀賞 6年 畠山 莉子 「人権」

#### 【第18回 税に関する絵はがきコンクール】

- 努力賞 6年 田上 瑛一郎

#### 【令和7年度 第75回社会を明るくする運動作文コンテスト】

- 三次地区保護司会 会長賞 6年 畠山 莉子 「笑顔いっぱいのお世の中に」



自分の思ったことや考えたことを言葉や文章で表現する力は、多様な生き方や考え方が尊重されるこれからの時代にはとても大切な力だと言われています。河内小学校では、いろいろな学習や行事のあとは必ず振り返りの時間をとって感想発表をするようにしています。心の中で考えたことや思ったことを聞き手に分かりやすく表現するのは簡単なことではありませんが、高学年の自己を表現する姿をモデルにして下学年の子ども達の表現力も高まってきています。

今回号では、「中国新聞のヤングスポット」に掲載された、6年生の藤越琥太郎君の作文を紹介します。列車やバスの旅が大好きな藤越君。限られた文字数で、自分の素直な気持ちを表現しています。

### 運転手の心づかいに感謝

六年 藤越 琥太郎

ぼくはバスや列車などの乗り物が好きで普段からよく利用しています。バスの運転手さんは優しく、親切で、フレンドリーな関係だと感じています。

「今日は、どこまで行くん？」

「図書館まで行きます。」

などと会話をするのも多いのです。

先日、バスに乗って買い物に出かけることにしました。ところが、定刻を過ぎてもバスが来ませんでした。

そのため、乗리카えのためのバス停に到着したときは、ほぼ同時に、乗리카えバスが発車してしまいました。

「ああ、買い物ができない。」と思いました。

すると、それを察してくれたのか、運転手さんが窓を開け、

「乗리카えのお客さんがいます。」

と、バスに声をかけてくださいました。

乗리카えバスの運転手さんも顔なじみの方でした。

乗ることのできたぼくは、無事に買い物できました。

乗客を第一に考えてくださる心づかいに感動しました。

運転手さん、本当にありがとうございました。



黄色いイチョウの葉のじゅうたんの上でハイポーズ!

11月2日の「河内ふれ愛まつり」には参加できずご心配をおかけしました。発表できなかった歌や合奏などは、2月実施予定の「スプリングライブ」で披露します!詳細はまたお知らせします。

皆さんどうぞ見に来てください!